

2212 アクセス・ユーティリティー



## CPCI アダプターの取り付けおよび取り外し



2212 アクセス・ユーティリティー



## CPCI アダプターの取り付けおよび取り外し

原 典： 25L5602  
2212 Access Utility  
Installing and Removing a CPCI Adapter

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.10

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1999

---

# 目次

本書について . . . . .	v
開始する前に . . . . .	v
安全上の注意 . . . . .	v
電源コードの切り離し . . . . .	v
電源コードの再接続 . . . . .	v
静電気に敏感な装置の取り扱い . . . . .	vi
<b>CPCI アダプターの交換 . . . . .</b>	<b>1</b>
デジタル・モデム・アダプターのドーターカードの取り付け . . . . .	4
<b>付録. 特記事項 . . . . .</b>	<b>7</b>
電気通信機器適合認証の表示 . . . . .	7
国選択機能 (4-Port 56K Analog Modem CPCI Adapter のみ). . . . .	7
安全上の注意 . . . . .	8



---

## 本書について

本書では、2212 アクセス・ユーティリティ内で CPCI アダプターを取り付けるか、取り外す方法を説明します。本書は、IBM 2212 内に新しい CPCI アダプターを取り付けるすべての方を対象にしています。CPCI アダプターについては、*IBM 2212 アクセス・ユーティリティ 入門と計画の手引き*、*IBM 2212 ハードウェアおよびアダプターを参照してください*。アダプター構成については、*アクセス・インターテグレーター・サービス ソフトウェア使用者の手引き*、*アナログ・モデム/音声インターフェースの使用を参照してください*。

---

## 開始する前に

取り外しまたは交換の作業を開始する前に、必要になる機器のリストを検討し、共通の安全上の注意を読んだ上で取りかかってください。

### 重要

電源ケーブルまたは電源コンセントのテストを必要とする保守は、資格のある保守技術者または電気技術者に任せてください。

## 安全上の注意

### 危険

本製品の取り付けを開始する前に、*Caution: Safety Information--Read This First, SD21-0030* の安全上の注意をお読みください。このブックレットは、電気装置内の配線および接続についての安全手順を説明しています。

注: 安全上の注意の翻訳文については、7ページの『付録. 特記事項』の安全上の注意もお読みください。

## 電源コードの切り離し

### 重要:

電源コードを切り離すと、IBM 2212 がシャットダウンし、ネットワーク内のユーザーが中断されます。電源コードを切り離す前に、ネットワーク管理者にご相談ください。

電源コードを AC 電源コンセントから切り離してから、IBM 2212 から切り離します。

## 電源コードの再接続

電源コードを IBM 2212 に接続してから、AC 電源コンセントに接続します。

## 静電気に敏感な装置の取り扱い

システム・ボード、アダプター、およびメモリー・モジュールなどの特定のコンポーネントは、静電気の放電によって損傷することがあります。これらのコンポーネントは、そのような損傷を防ぐために帯電防止袋に入れて出荷されています。これらのコンポーネントを取り扱うときは、静電気の放電 (ESD) 保護装置を使用する必要があります。

以下の予防措置を講じてください。

- IBM 2212 内のコンポーネントを交換する準備ができるまで、帯電防止袋からコンポーネントを取り出さない。
- コンポーネントがまだ帯電防止袋に入った状態で、機械の金属フレームに接触させる。
- コンポーネントを保持するときは、エッジを持つ。はんだの接合部またはピンには触らない。
- 永続的な損傷を防ぐために、コンポーネントは注意深く取り扱う。



## CPCI アダプターの交換

CPCI アダプターを交換する前に、viページの『静電気に敏感な装置の取り扱い』を参照してください。

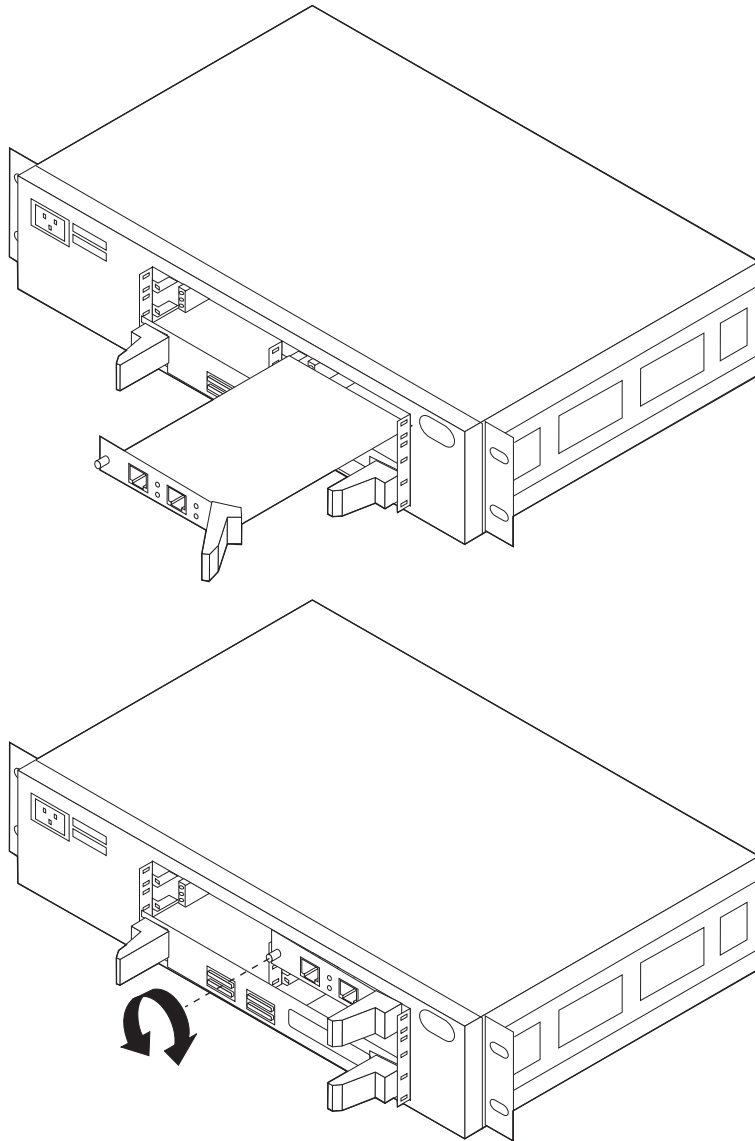


図1. CPCI アダプターの挿入

1. 電源コード・プラグを抜いて、IBM 2212 から電源を取り除きます。
2. CPCI アダプターからケーブルを取り外します。再接続を容易にするため、ケーブルを切り離すたびにラベルを付けておくとよいでしょう。
3. CPCI アダプターは、1 つのレバーとつまみねじを使って固定されています。このアダプターを取り外すには、つまみねじを左回りに回して、レバーを解放します。レバーを解放するには、レバーを外側に押します。

アダプターを IBM 2212 から取り外し、ユーザーの国用の保証書に指示されているように返却します。

4. 新しいアダプターをスロットのみぞに沿って滑り込ませます。レバーを内側に押し、レバーを固定してから、つまみねじを右回りに回す必要があります。
5. ケーブルを CPCI アダプターに再接続します。
6. 電源コードを接続して IBM 2212 の電源をオンにします。
7. 約 1.5 分後、対応するアダプター・スロットのアダプター・スロット状態 LED が正しい状態、つまり緑色の LED がオンになり、黄色の LED がオフになることを確認します。(アダプター・スロット状態 LED は、コネクターの反対側にあります。) これは、アダプターが正しくはまり、IBM 2212 によって認識されたことを示します。
8. 前に空であったか、異なるタイプのカPCI アダプターが入っていたスロットにアダプターを取り付けている場合は、*IBM 2212* アクセス・ユーティリティー 設置と初期構成の手引き を参照し、初期構成後のアダプターの追加に関する「共通タスク」の節の説明に従います。
9. アダプターがステップ 8 の説明にしたがって構成された場合は、**talk 5** と入力して、OPCON プロンプト (\*) で **Enter** を押すことにより、GWCON プロンプト (+) にアクセスします。+ プロンプトで、**configuration** と入力し、アダプター・インターフェースの状態が **アップ** であるか確認します。インターフェースの状態がアップでない場合、詳しくは、アクセス・インテグレーター・サービス ソフトウェア使用者の手引き を参照してください。
10. 作業が終わったことをネットワーク管理者に通知します。

2 倍幅 CPCI アダプターの場合、2 つのレバーを使って固定されています。このアダプターを取り外すには、2 つのレバーをそれぞれ外側に押しつけて解放します。

また、取り付けも逆の手順で行うことができます。

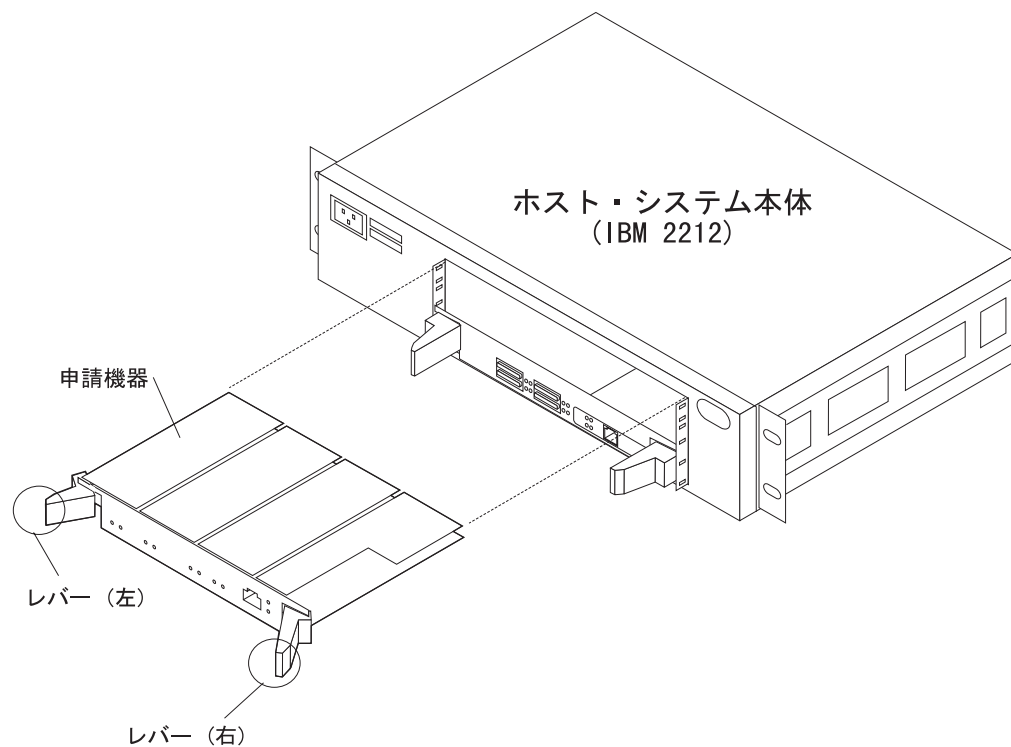
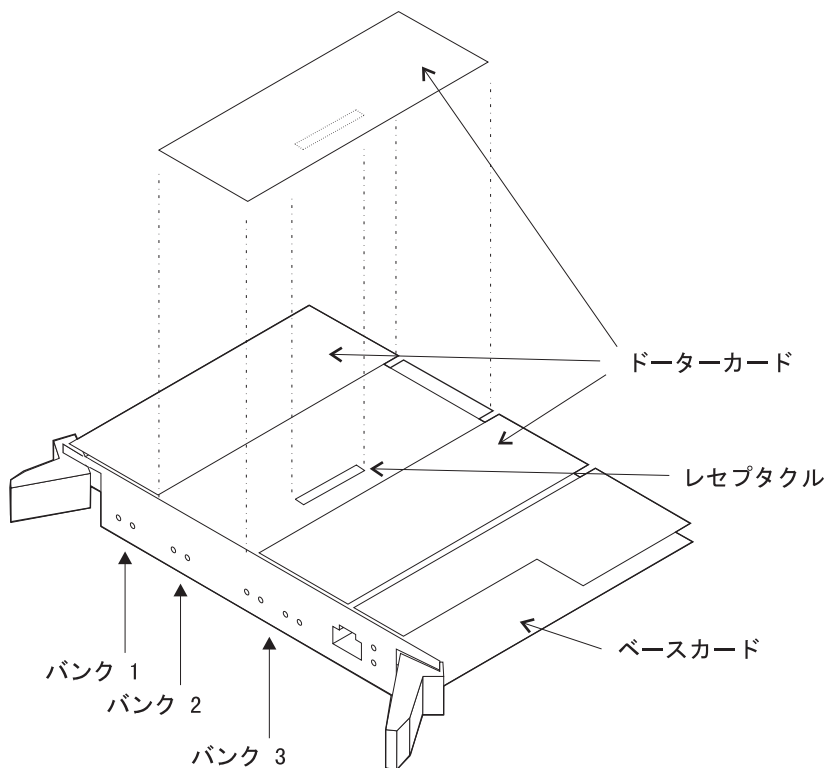


図2. 2 倍幅 CPCI アダプターの取り付け、取り外し

## デジタル・モデム・アダプターのドーターカードの取り付け

デジタル・モデム・アダプター (T1/J1 Digital Modem CPCI Adapter) は、ISDN 一次群回線を利用して 1B チャンネルあたり 1 個の 56K モデム、最大 23B チャンネルつまり 23 個のモデムをサポートできます。下図のようにベースカードの上にドーターカードを最大 3 枚搭載できますが、ドーターカードを工場出荷時の 1 枚から 3 枚へ増設することにより、サポートできるモデムの数を 12 個から 23 個へ増やすことができます。ベースカードにはバンク 1 ~ バンク 3 まで、ベースカードとドーターカードを接続するレセプタクルが用意されています。



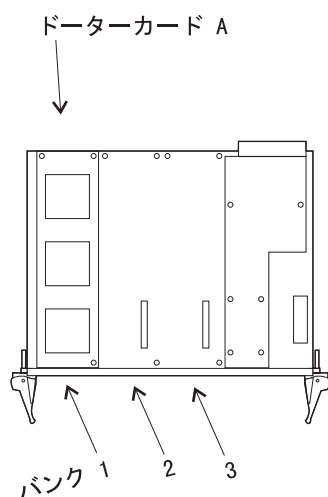
ドーターカードは、2種類あります。ドーターカード A は 9 個のモデムを、ドーターカード B は 3 個のモデムをサポートします。

ベースカード自身のみで 3 個のモデムをサポートしますから、アダプター全体でサポートするモデムの数は、以下の表のようにドーターカードの組み合わせにより決定されます。

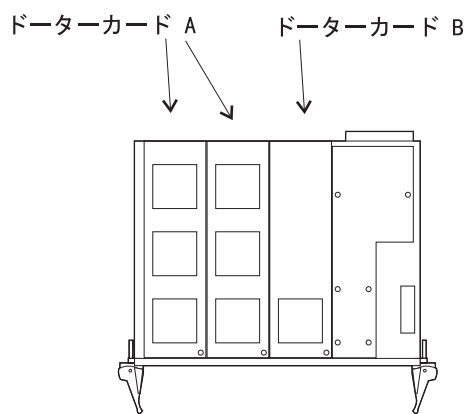
ISDN モデム・ チャンネル数 (注)	ベース カード	バンク 1	バンク 2	バンク 3	サポート・ モデム総数
12 モデム・ チャンネル	あり	ドーター カード A	なし	なし	12
23 モデム・ チャンネル	あり	ドーター カード A	ドーター カード A	ドーター カード B	23

(注: 日本における ISDN 一次群回線は 23B + D チャンネル形式であり、23B チャンネルを通信のために利用できます。このうちモデムをサポートするチャンネル数を最大 12 または 23 に選択できます。)

12 モデム・チャンネルの場合、バンク 1 にドーターカード A が装着されています。12 モデム・チャンネルから 23 モデム・チャンネルへ増設するには、バンク 2 にドーターカード A を、バンク 3 にドーターカード B を装着します。



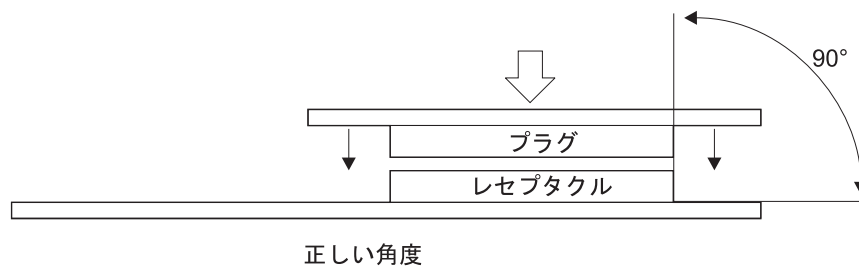
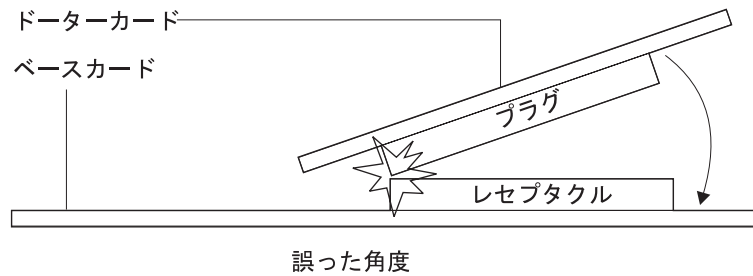
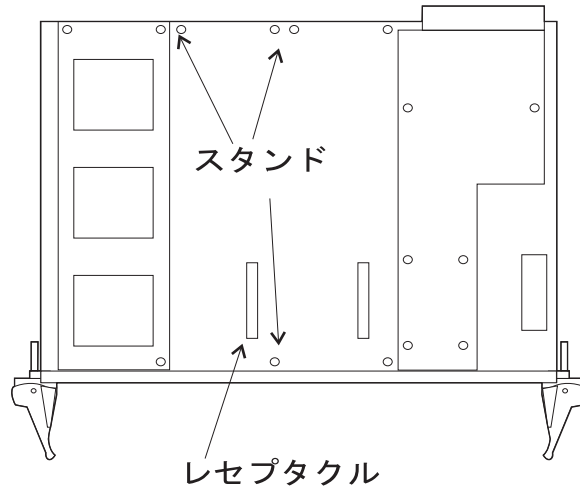
12 チャンネルの場合



23 チャンネルの場合

各バンクにドーターカードを取り付けるには、以下のように行います。

1. ベースカード上には 3 個のスタンドがあり、これに対応してドーターカードに 3 個のコネクタがあります。まずスタンドとコネクタとの位置を合わせます。また、同時に、ドーターカード上のプラグとベースカード上のレセプタクルの位置を合わせます。下図を参照して角度を調整ください。



2. ドーターカードを上から軽く押し付けながらベースカードに取り付けます。
3. 3 個のスクリューをドーターカードの上部からベースカードのスタンドへ挿入し、ネジ止めします。

## 付録. 特記事項

### 電気通信機器適合認証の表示

この製品は、技術基準適合認証を受けた電気通信端末機器です。

機器名	適用回線	認証番号
2-Port ISDN BRI-S/T CPCI Adapter	ISDN	C99-0321JP
1-Port ISDN PRI-T1/J1 CPCI Adapter	ISDN	C99-0322JP
2-Port ISDN PRI-T1/J1 CPCI Adapter	ISDN	C99-0323JP
T1/J1 Digital Modem CPCI Adapter	ISDN	C99-0710JP
4-Port 56K Analog Modem CPCI Adapter	電話回線	A99-0445JP

### 国選択機能 (4-Port 56K Analog Modem CPCI Adapter のみ)

4-Port Analog 56K Modem CPCI Adapter を IBM 2212 システム装置に設置する場合、「2212 構成プログラム」を使用して構成 (Configuration) を行います。この場合、最初に以下の国選択画面が表示されます。

```
Config> ADD DEVICE ANALOG-MODEM
```

```
--
```

```
Enter a country code : [Japan] ?
```

工場出荷時の初期設定は、「日本 (Japan)」になっておりますので、そのまま **Enter** キーを押して先に進んでください。

**注意:** 本製品を日本国内で使用する場合は、必ず「日本 (Japan)」を選択してください。ほかの国を選択すると、電気通信事業法 (技術基準) を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

### 危険

導入作業を開始する前に、安全に関する小冊子 **SD21-0030** の「最初にお読みください」 (**Read This First**) の項をお読みください。この小冊子は、電気機器の安全な配線と接続の手順について説明しています。

### 注意

このユニットには取り外しのできないリチウム・バッテリーが使われています。ユニットを廃棄する時は最寄の **IBM** 製品取扱いディーラーにユニットごとお持ちください。







Printed in Japan

SA88-6680-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

Spine information:



2212 アクセス・ユーティリテ  
ィー

2212 CPCI アダプターの取り付け